

令和6年度 事業報告

*親子のふれあいの場づくりと、

子育てに悩む親の支援に関する事業*

1 もんぜんぷら座こども広場	回数	参加人数
通常の広場の運営に戻り2年目となり、来館人数も徐々に増えてきた。コロナ禍で中止していたイベント等も再開し、より利用者に開かれた広場として利用者ニーズに寄り添い開館することができた。 I 実施事業 1 子育て中の親とこどもの交流に関する事業 ア ねんねの会 毎月2回 24回 282組 イ 手形をとりませんか? 毎月1週間 12回 182組 ・上記の他、開館日には毎日「手あそび」や「うた」「体を使ったあそび」などを行った 2 子育てに関する相談 ア おしゃべり会の開催 ・年齢別おしゃべり会 0歳児 12回 201組 1歳児 12回 123組 2・3歳児 12回 60組 ・はじめてのながのウェルカム交流会 6回 47組 イ 専門家相談 ・「こどものこころとからだの相談室」 小児科医（第1木）14時～16時 10回 18件 ・「歯科相談」 歯科医師 月1回不定期 12回 90件 ・「お食事なんでも相談」 栄養士1名 22回 55件 （第1, 3木）10時30分～16時10分 ・「妊娠・出産・母乳相談」 助産師3名 12回 91件 （第3金）13時～15時 ・「お母さんの心の相談室」（第2土） 12回 14件 ・「療育相談」 療育コーディネーター 月1回10時30分～14時 12回 13件 ・「就業相談」 女性就業相談員、女性就業アドバイザー（第2金） 11回 13件 ・「ママのための心の相談」 臨床心理士 2回 3件 ウ 子育て相談 毎日 スタッフ 毎日 1,641件 子育てコンシェルジュ 週5日 2,295件 3 子育てグループ等の育成 ア 子育てグループへの遊びなどの指導者派遣 11回 51組 第三地区「サンサン広場」 2回 18組		

	浅川社会福祉協議会「アップルキッズ」 イ 子育てグループへの活動スペースの提供 2 グループ登録 ウ 子育てグループの紹介 「長野市子育て支援ガイドブック」をホール内に設置すると共に問い合わせに対しては随時対応した エ 子育てグループ代表者会議の開催 4 子育てに関する情報の提供 ア 子育て情報の掲示板の活用 ・利用者からの情報や子育てグループが製作している情報誌等を設置 イ 子育てに関するイベント、団体の情報の掲示 ・イベント情報の掲示板を活用し、長野市内にとどまらず子育てに関するNPOグループの情報を掲示 5 あそびに関する指導及び助言 子育て中の親とこどもの交流に関する事業に含む 6 子育て情報誌の発行 子育て情報誌「じゃん・けん・ぽん」の発行（隔月）6回発行 7 子育て講座、イベントの開催 ア 子育て講座 ・ 子育てお助けセミナー 保育所・幼稚園選びについて（個別対応） 小児科ってどんなところ？！ 乳幼児の口腔ケア ・ 食育講座 5/22、2/26、3/17 ・ わんぱく散髪講座 ・ アートプログラム ・ 休日マタニティセミナー ・ 親子で絵本タイム ・ NP 講座（全6回）10/25～12/6 参加7組 ・ 防災講座 9/10 イ ながのわくわくパパ講座（実行委員会：スマイルパパ部） ・ Zoom を利用してのオンライン講座として実施 5/31、7/20、9/13、12/6 いずれも金曜日 ・ 公園等で集合講座を企画 5/11、11/16、1/18、2/1 ・ じゃん・けん・ぽんでパパススペシャル講座 6/15、8/24	5 回 中止 6 回 2 回 1 回 1 回 3 回 2 回 2 回 12 回 12 回 6 回 1 回 4 回 4 回 2 回	23 組 12,000 部 100 組 13 組 17 組 36 組 16 組 22 組 183 組 125 組 38 組 18 組 24 人 40 組 55 組
--	--	---	---

ウ イベント ・ じゃん・けん・ぽんバースディ ・ 親と子の歯のつどい ・ 七夕 ・ 運動会 ・ クリスマス会 ・ まめまき ・ ひなまつり ・ 冬のあそび広場 2025 ・ がらくた座 公演 ・ 読書感想画展 出展	6月1日	34組
	6月6日	20組
	7月8日	20組
	10月11日	19組
	12月11日	97組
	2月3日	25組
	3月4日	40組
	2月8～9日	22組
	9月30日	25組
	11月数日	6組
8 訪問型子育て支援事業		
妊娠期～6歳未満の子どもがいる家庭へ途切れのない支援		
・利用者の状況		
新規利用者 77人、継続利用者 13人		
産前新規利用者 8人、継続利用者 1人		
延べ訪問回数 オーガナイザー＋ビジター 606回		
・スキームの状況		
基本：オーガナイザー4人、		
登録ホームビジター53人（活動HV24人）		
産前：オーガナイザー2人、		
登録ホームビジター35人（活動HV18人）		
・ホームビジター説明会：もんぜんぷら座 5/29、9/28	2回	7人
・ホームビジター養成講座 6人		
10/18～11/28 毎週木曜日	3月10日	27人
・HSながのこどもの城10周年記念式典		
記念式典・講演会「子どもの発達を支える遊びのチカラ」		
講師 荻上健治		
・ホームビジタースキルアップ講座	4月25日	7人
① 前年度活動報告・情報交換交流会	6月12・17日	11人
② 保育所・幼稚園・認定こども園の選び方について 2回	8月30日	6人
③ 里親はひとつの家族のカタチ		
ファミサポ提供会員との交流会	11月30日	4人
④ HSJ15周年記念フォーラム	2月11日	2人
⑤ 南関東エリアビジターデイ	3月10日	21人
⑥ 10周年記念講演会		
「子どもの発達を支える遊びのチカラ」		
・OGスキルアップ・研修		
ホームスタート・ジャパン等が開催するオンライン研修等に参加		
・運営委員会		12人
3月10日		
9 利用者支援事業		
・子育てコンシェルジュを配置し、子育て支援の情報提供を行った		
月・火・木・金・土		
・相談の人数 面接：2,238人 電話：57人		

・利用の状況 ケース数：236 件 相談件数：2,528 件 内訳 情報提供：1,192 件、他の支援につなぐ：109 件 同行支援：5 件、訪問：0 件、その他：7 件 傾聴：979 件		
10 その他子育て支援に関すること		
ア 世代間交流事業 ・折り紙講座（シニア講師）月 1 ～ 2 回	19 回	222 組
イ ボランティアの受け入れ ・ばぶちゃんからのおはなし・わらべうた（語り）月 1 回 ・ベビーマッサージ月 1 回 ・おもちゃ病院の開催月 1 回 ・みんなで歌おう（長野少年少女合唱団）月 1 回 ・絵本の読み聞かせ（おはなしボランティア）月 1 回 ・交通安全のおはなし年 6 回 ・マザーグースの手遊び年 6 回 ・ママのためのハンドマッサージ年 6 回 ・紙芝居（清泉女学院短期大学サークル ひょうしぎの会）1 回 ・クリスマスコンサート（長野フィル）	12 回 11 回 12 回 9 回 7 回 6 回 6 回 5 回 2 回 1 回	92 組 168 組 210 組 85 組 87 組 69 組 89 組 38 組 20 組 75 組
＊ ボランティアの受け入れ 社会人 508 人、 学生 153 人、 合計 661 人 （サマーチャレンジボランティア…53 人 地域まるとキャンパス…8 人を含む）	12 回	
ウ リユースマーケット 毎月月末約 1 週間		
エ 出張広場 ・ゆりかごの会（月 1 回 第 2 火曜日イーストプラザ） 大勢の人のいる所に来られないお母さんのための広場を開催 ・あそびましょう（東部保健センター）月 2 回 じゃん・けん・ぽんへなかなか来られない地域東部保健セン ターに出向き、「あそびましょう」を開催 ・ふたご・みつご広場（北部保健センター）月 1 回（第 1 月曜日） 長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催 多胎児親子向けの遊びの広場を運営	12 回 24 回 12 回	41 組 241 組 55 組
オ 子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座 中止		
カ 地域連携事業 ・権堂七夕まつりに出展 7/20～8/7 ・灯明まつり「ゆめ灯り絵展」に出展 2/7～2/11 ・ながの子ども・子育て応援フェスティバル 10/27		

10 その他子育て支援に関すること

イ	ボランティアの受け入れ		12回	92組
・	ばぶちゃんからのおはなし・わらべうた（語り）	月1回	11回	168組
・	ベビーマッサージ	月1回	12回	210組
・	おもちゃ病院の開催	月1回	9回	85組
・	みんなで歌おう（長野少年少女合唱団）	月1回	7回	87組
・	絵本の読み聞かせ（おはなしボランティア）	月1回	6回	69組
・	交通安全のおはなし	年6回	6回	89組
・	マザーグースの手遊び	年6回	5回	38組
・	ママのためのハンドマッサージ	年6回	2回	20組
・	紙芝居（清泉女学院短期大学サークル ひょうしぎの会）		1回	75組
・	クリスマスコンサート（長野フィル）			

ウ リユースマーケット	毎月月末約1週間		
-------------	----------	--	--

オ 子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座
中止

	・ 地域まるごとキャンパス 2024 に活動フィールド参加 主催 ながの協働ねっと, (特非) 長野県 NPO センター 8 名、各 3 日 延べ 24 日 Ⅱ その他 ア 教育機関との連携 長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」 説明会 5/30 4 校 12 学級 長野県立大学健康発達学部こども学科 長野県立大学こども学科「赤ちゃんママのおしゃべり会」 長野看護専門学校臨地実習 母性看護実習 各 2 日 清泉女学院大学看護学部 看護実習 清泉女学院短期大学幼児教育学科演習「子育て支援」 見学実習 卒論のためのアンケート調査 信州大学 1 人 延べ 2 日 上越教育大 2 人 延べ 2 日 イ 行政等との連携 ・ もんぜんぶら座防災訓練に参加 6 月 25 日、10 月 24 日 ウ 視察・見学 ・ 視察 長野市こども未来部・財政課 箕輪町こども未来課 五泉市 市議会議員 第 2 ブロック民生児童委員 第 4 地区民生児童委員 ・ 取材に協力 信濃毎日新聞社、週刊長野、長野朝日放送 Ⅲ 令和 6 年度 利用者数 39,971 人 乳幼児数 18,487 人、小学生 204 人 大人 21,280 人 令和 6 年度新規登録者数 1,539 人	1 回 20 組 12 回 68 組 3 回 19 組 44 人 9 回 82 人 9 回 73 人 2 回 12 人 10 人 1 人 1 人 9 人 12 人 8 人	
2 長野市ファミリー・サポート・センター			
	長野市内における育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を提供するもの（提供会員）を会員として登録し、会員間による育児の相互援助活動を支援。仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て支援基盤を整備することにより、保護者等の福祉の増進、及び子どもの健やかな育ちを促進した。		

1 実施事業 ア 入会説明会 ・会員登録のために月 1 回開催 ・窓口入会 ・訪問入会 ・提供会員向け入会説明会を養成講座前月に年 2 回開催 6/28、1/25 イ 入会者数 153 人 依頼会員 144 人、提供会員 8 人、両方会員 1 人 訪問入会 ・体調の悪い方の自宅へ訪問し、入会説明を行った 1 人 ウ 講習会 提供会員・両方会員養成講習会 ・援助活動をするために、知識等を習得する講習会 年 2 回（1 講習 5 日間）開催 今年度より基礎編・応用編に再編し、基礎編修了で基本事業の活動ができるようになった ・講座修了者 16 人 昨年度までの受講者 7 人 基礎編 8 人 応用編 9 人 エ 研修会・会員交流 ・提供会員・両方会員研修会・懇談会 「リスクマネジメント講座」 ・ふぁみさぼひろば・全体交流会 「ボードゲームを楽しもう」 ・全体交流会 「木の実のリースづくり」 オ 活動件数 1, 959 件（内 病児・病後児 0 件） （内 事前打ち合わせ件数 56 件） 会員数 1, 652 人 依頼会員 1,216 人、提供会員 396 人、両方会員 40 人 内 病児病後児登録者 487 人 依頼会員 429 人、提供会員 43 人、両方会員 15 人 2 日常業務について ・自家用車使用規定、使用申請書などを策定し、活動中の提供会員に送り、申請書等を提出していただいた。それに伴い、運転に懸念のある会員は、退会していく人が見受けられた。 ・提供会員の感染防止対策として、マスク・除菌ティッシュを配布した。 ・依頼会員のサポート依頼を受け、提供会員を紹介しコーディネート ・提供会員から送られてくる援助提供記録書の管理、情報処理 ・会員情報の管理 ・会員募集 週刊長野・長野市民新聞等に取材に協力 ・広報活動…住民自治協の福祉ワーカーを訪問、 スポーツクラブへチラシ配布 ・3 か月毎に保育・幼稚園課への活動状況の報告	15 回 随時 随時 2 回 基礎編 7/8～7/13 1/27～2/1 応用編 9/5～9/6 2/27～3/1 9 月 28 日 7 月 20 日 11 月 9 日	128 人 30 人 1 人 3 人 延べ 99 人 延べ 29 人 19 人 9 人 3 人 8 人 6 人
--	---	--

3 ホームスタート事業			
家庭内での保育者の孤立感の解消、親の心身の安定を高める、親の子育てへの意欲を高める、親の子育てスキルの学習、問題の発見・モニタリングの目的のため、ホームスタートジャパンの手法を取り入れ、訪問型子育て支援事業「ホームスタート・ながのこどもの城」を運営した。 妊娠期から6歳未満の子どものいる家庭に途切れのない支援を行った。 ・ HS ながのこどもの城 10 周年記念事業 記念式典・講演会「子どもの発達を支える遊びのチカラ」 講 師 荻上健治 ・ 第 11 回ホームビジター養成講座 参加者 4 人 (10/18～11/28) ・ ホームビジターフォローアップ講座 年 6 回 ・ トラスティー会議 運営委員会の開催 1 回	3 月 10 日 9 日 6 回 3 月 10 日	27 人 36 人 51 人 12 人	
4 こども第三の居場所事業 			

やしょうまづくり、段ボール工作、大ちゃんと遊ぼう、ワークショップ「こころ・からだ・性の大事」等 こどもまんなか会議「みんなで考えよう」9/29 4人 ・ 毎月第1月曜日 もんぷら保健室 元養護教諭 ・ 毎月第3火曜日 読み聞かせ JPIC 読書アドバイザー							1 回	4 人
5 登録者数 135 人（2024 年度） 小学生							135 人	
学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年		
人数	24	18	27	20	10	12		
中学生 1 年生 4 人、 2 年生 15 人、 3 年生 3 人 高校生 1 年生 1 人、 2 年生 1 人								
6 広報 ・ 近隣小学校（鍋屋田、山王、城東、城山、加茂）へのチラシ配布（4 回／6 月、10 月、2 月、3 月） ・ 長野市送付のひとり親家庭への通知にチラシ、わくわく通信同封（10 月／2,500 部） ・ 活動報告ペーパー「わくわく通信」の発行（1,500 部／6 月・2 月・3 月、2,500 部／10 月） 《配布先》 鍋屋田小 179、山王小 164、城東小 352、城山小 332、加茂小 189 他 ・ ホームページにて、毎日の活動状況をブログとして発信 ・ 登録世帯との連絡手段について、利用者ニーズに応じて、SMS から LINE への変更を調整中								
7 外部連携実績 ＜ボランティア受入れ＞ ・ 地域まるごとキャンパス ・ ようこそ森と木ラボ ・ 長野少年鑑別所 ＜地域・教育機関等との連携＞ ・ 教育支援センターSaSaLAND と連携 ・ 新田町、問御所町（7/17 ながの祇園祭） ・ 長野美術専門学校（7/28. 29 黒板アート製作） ・ 長野市教育委員会（11/24 長野地域多様な学びフォーラム） ＜食材・物資提供＞ ・ フードバンク信州 ・ 長野地域こどもカフェプラットフォーム ・ こども食堂ネットワーク ・ JA ながの ・ くりのみ園（障がい者支援施設） ・ 近隣の商店及び住人(10 人)							604 人	

	<研修・視察受入れ> ・飯綱町社会福祉協議会視察 ・信州大学附属長野中学校「あさひのプロジェクト」 ・子どもの居場所担当チーム受け入れ／16名 (7月10・11日、12月11日) ・第三地区民生児童委員協議会視察視察 5月21日(火) ・新潟市民生委員協議会視察 10月17日(木) ・中央高等学院視察 ・高山村村議会議員研修会 1月22日(水) ・長野県小児科医会居場所研修会 3月19日(火) ・2022年、2023年度事業について日本財団監査 11月28日(木)		
--	---	--	--

5 災害時支援事業

(緊急時子ども支援ネットワーク事業)

「台風19号による被害を受けた子どもとその保護者への支援事業」及び、「長野市における緊急時の子ども支援ネットワーク事業」が多方面で評価され、認定NPO法人JPFからの声がけにより、休眠預金事業として、2024年9月より「緊急時の子ども支援に取り組む地域への災害ケースマネジメントのノウハウ移転事業」をスタート。 「令和5年度広域活動団体基盤強化配分事業」及び、「令和5年度官民連携による被災者支援体制構築モデル事業(子ども支援)」を並走しながら、長野市における緊急時の子ども支援体制強化と、全国各地へのノウハウ移転を進めている。			
事業内容			
1 緊急時の子ども支援体制の拡大・強化			
(1) 長野市緊急時の子ども支援ガイドラインの作成・周知	1回	10000部 460部	
・印刷・製本、発行(4月)			
・長野市内外広域(長野県内77市町村含む)に配布			
(2) 緊急時の子どもへの対応ガイドラインの作成	1回	6団体 (JPF含む)	
・作成委員会の立ち上げ、実施(12/9)			
・ガイドライン作成に向けた研修会の実施 ※3(1)へ記載			
(3) 長野市における子ども支援計画の作成	7回		
支援計画の作成に向け、長野市内外で実施された訓練に積極的に参画			
2 ネットワーク拡大に向けた活動			
(1) 運営委員会の実施(①5/1、②7/1、③8/8、④1/6、⑤3/17)	5回	12団体	
(2) 交流会の実施(2/11)	1回	26名	
地域の子どもの支援拠点を活かした災害時の子ども支援のあり方を考える			
(3) 保育所等の子ども関係機関への参画の呼びかけ	随時		
(4) 企業への参画の呼びかけ	随時		
3 スキルアップのための活動			
(1) 学習会の実施	3回	76名	
① 10/20 緊急時に備え発達の特性に応じた子どもとの関わり方を学ぶ			
② 2/15 遊びを通した子どもの心のケア(JAPT)研修			

	③ 3/9 子どものための心理的応急処置(PFA)研修 (2) 子育て世帯向け防災講座の実施 (3) 災害支援訓練の実施（地区や学校との共同訓練を想定） (4) 子ども防災ワークショップ （復興イベント、子ども子育てフェスティバル、わくわくカフェ2回） (5) 上述の活動より得られた結果を関係諸団体・諸機関に情報共有 ・ 国土強靱化「民間の取り組み事例集」に事業掲載される ・ 「台風19号による被害を受けた子どもとその保護者への支援事業」が休眠預金等活用事業に関する追跡評価ヒアリング対象となる 4 緊急時の子ども支援コーディネーターの育成 (1) ガイドラインの理解を深める学び合い会の実施 (2) 緊急時の子ども支援体制構築プログラム（全5回のオンライン研修） (3) 関連する学習会や研修会に参加し、ネットワーク内に共有 5 外部ネットワーク組織との連携 (1) 長野県災害時支援ネットワーク、長野市災害ボランティア委員会と情報共有を図りながら、連携体制を構築 (2) 子ども支援だけでなく子どもに関連する多様な分野と情報共有を図りながら、連携体制を構築	2回 0回 4回 随時 3回 5回 1回 随時 随時	23組 428名 42名 273名
--	--	---	---

6 新 ながのこども館 ながノビ

	長野市開発公社が指定管理者として運営する「ながのこども館 ながノビ」の1階「森のたんけんひろば」業務を受託し、『子どもたちの生きる力を育む「科学と遊びの森」城山公園屋内体験施設整備事業』に記された事業実施方針に従って、事業計画を立て施設運営を行った。 運営の基本方針 ・多くの親子が安心して過ごせるよう、各遊具の遊びのルールや過ごしている際の注意点などを決め、理解したうえで遵守いただけるよう努めた。 ・衛生管理、安全管理を行い、利用者が安心して過ごせるよう環境設定を行った。 ・「のびのびパーク」と題して定期的にイベントを企画・実施した。 1 業務の場所 ながのこども館 ながノビ 長野市上松2丁目4番5号（旧 少年科学センター） 2 業務受託期間 令和6年7月1日から令和7年3月31日まで 3 開館日 月・水・木・金・土・日 の9:30～17:00 （休館日：火曜日、年末年始） 4 のびのびパーク企画 森のたんけんひろばでの日常的な自由遊びだけでなく、定期的にイベントを開催し、体験・あそびを親子に提供した。		
--	--	--	--

	(1) 時間 30分～50分 10:30～11:00/10:30～11:30 (2) 開催日 ・第2月曜 リトミック音楽系 ・第2金曜 読み聞かせ、紙芝居シアター等 ・第3金曜 季節の行事 ・第4水曜 子育てコンシェルジュによる子育て出張相談 ・第4木曜 体操教室やベビーマッサージ (3) 開催結果 <table border="0"> <tr> <td>① 季節の行事</td><td>10回</td><td>104組</td><td>240人</td></tr> <tr> <td>② 親子でおはなしなあに</td><td>5回</td><td>73組</td><td>203人</td></tr> <tr> <td>③ 親子でリトミック</td><td>7回</td><td>55組</td><td>123人</td></tr> <tr> <td>④ わらべうたベビーマッサージ</td><td>3回</td><td>5組</td><td>12人</td></tr> <tr> <td>⑤ 親子ピクス</td><td>3回</td><td>19組</td><td>41人</td></tr> <tr> <td>⑥ 親子でアート</td><td>2回</td><td>20組</td><td>45人</td></tr> <tr> <td>⑦ おでかけコンシェルジュ</td><td>7回</td><td></td><td>142人</td></tr> </table> 5 まとめ ・利用者月齢差が大きく、「主な利用者が乳幼児の平日」「団体受け入れの平日」「土日祝日」と客層が大きく違いそれぞれの注意が必要であった。 ・イベント参加者アンケートによるとイベント満足度は満足・やや満足合わせて99%。 ・平日イベント「のびのびパーク」は情報浸透が進まず、参加人数伸び悩んだ。1月からネット申し込みができるようになり一定数参加があったが募集人数に対して未達であった。特に、平日の乳幼児向けにベビーマッサージを開催したが参加者はわずかだった。 ・団体受け入れと重複したため、イベント中止または日程変更が5回あった。利用者からは「団体が怖いから（利用しない）」との声も直接あり、一般利用者と団体の共存が困難と感じた。	① 季節の行事	10回	104組	240人	② 親子でおはなしなあに	5回	73組	203人	③ 親子でリトミック	7回	55組	123人	④ わらべうたベビーマッサージ	3回	5組	12人	⑤ 親子ピクス	3回	19組	41人	⑥ 親子でアート	2回	20組	45人	⑦ おでかけコンシェルジュ	7回		142人		
① 季節の行事	10回	104組	240人																												
② 親子でおはなしなあに	5回	73組	203人																												
③ 親子でリトミック	7回	55組	123人																												
④ わらべうたベビーマッサージ	3回	5組	12人																												
⑤ 親子ピクス	3回	19組	41人																												
⑥ 親子でアート	2回	20組	45人																												
⑦ おでかけコンシェルジュ	7回		142人																												

* こどもの心とからだの相談事業 *

1 こどもの心とからだの相談室			
	1 日時：毎月 第1木曜日 14時から16時 2 会場：もんぜんぷら座こども広場活動室	10回	18件

* あそび、体験に関する事業 *

1 食育講座			
	1 会場：ながのこどもわくわくカフェ 2 参加者：こどもカフェへの参加小学生から高校生 毎月 第1日曜日	12回	126人

	こども広場の子育て中の親子 3回 3 内容：季節に合わせた食文化を楽しみながら体験	5/22、2/26、 3/17	合計 36 組
2 冬のあそび広場 2025			
	1 日時：令和7年2月8日～9日 2 内容：牛乳パックで車や電車を作ろう		22 組

* こどもの活動に取り組む人材育成事業 *

1 中高生の子育て理解講座の開催			
	1 会場：こども広場じゃん・けん・ぽん 2 対象：サマーチャレンジボランティアと地域まるとキャンパスの参加者	7/26 8/4	3 人 10 人
2 地域まるとキャンパスへの参加			
	高校生以上の学生に、地域・社会づくりの担い手となりうる「市民性」を育むことをねらいとした活動に、短期フィールドとして参加。 ・こども広場 じゃん・けん・ぽん 5名 延べ13日 ・ながのこどもわくわくカフェ 3名 延べ10日		65 人 30 人
3 ユースリーチへの参加			
	開催されなかった		

* こどもの文化芸術に関する事業 *

1 こどものアートプログラム			
	・it's special! ローラーころころ～親子でインスピ 絵の具でTシャツ 8月27日 ・親子でかきかき かぼちゃの写真立てを作ろう 10月30日	8月27日 10月30日	13 組 9 組
	対 象 0歳～3歳児とその保護者 講 師 母袋 京子 開催場所 じゃん・けん・ぽん活動室		

子育て情報の交流促進や、子育て情報誌の発行事業

1 子育て情報誌じゃん・けん・ぽんの発行			
	子育て・子育て支援の情報提供や交流を目的に、子育て情報誌じゃん・けん・ぽんを発行し、広場利用者、市内小児科医院や行政、保健センター、支援センター等に配布し、広報した。	年 6 回	12,000 部
2 ホームページによる情報提供			
	日々情報を更新。また、昨年に引き続きホームページにブログや新着情報を設け、各事業のスタッフが交代で毎日更新した。 ホームページの更新 Face book への投稿		
3 週刊長野等への情報提供			
	週刊長野へじゃん・けん・ぽん便り「子どもも親も いきいきと」として、理事交代で、月 1 回子育て・子育て支援の情報を提供した。12 回 モナミ、ほっとパルへも情報の提供をした。	毎月	

子育てに関わる各種グループや、 機関団体との交流促進事業

教育機関との連携			
1 清泉女学院短期大学非常勤講師派遣事業 (清泉女学院大学・短期大学との連携事業)			
	清泉女学院短期大学幼児教育学科「子育て支援」授業に非常勤講師としてスタッフ 4 名を派遣した。また、見学実習の場としてこども広場を提供した。 1 科目 子育て支援 1 クラス 30 人ずつ 3 クラス (2 年生) 2 期日 令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日 1 クラス 1 時限 講義 90 分×6 日、 見学演習 10 人ずつ 3 時間×9 日	27 回	73 人
2 長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市連携事業			
	長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市・長野県立大学連携事業として、「赤ちゃんママのおしゃべり会」を開催した。 内容：校内に設置されているブレイルームを活用し、初めてママの交流を促進した。 年 3 回 11 月 22 日、12 月 20 日、1 月 30 日	年 3 回	19 組
3 長野看護専門学校			

	長野看護専門学校母性保健学講座の臨地実習の場として連携した。 参加人数 22 人 各 2 日 延べ 44 人		
長野市との連携事業			
1 長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」			
	乳幼児とその保護者が長野市内の中学校に出向き、幼児とのふれあいを通して、幼児に関心を持つとともに、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家族や幼児に積極的にかかわることができるようにする。また、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくする態度を育てた。 4 中学校 1 2 学級	12 回	68 組
2 令和 6 年度ながの子ども・子育てフェスティバル			
	ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会構成団体として理事長実行委員長、また実行委員会事務局として参加した。開始当日は出展者として子育て応援・子育て情報ブースに、こども広場「じゃん・けん・ぽん」、「パパ講座」が参加した。 1 事業内容 (1) 開催日時 令和 6 年 10 月 27 日（日） 午前 10 時～午後 3 時 会場 長野市芸術館 長野市役所第 1 庁舎 テーマ 子どももおとなも新しいハッケン！ ～あそぼう・はなそう・つながろう～ 主催 ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会 参加対象 子ども・保護者、子育て支援団体 (2) 実績 来場者総数 2,500 名 参加団体数 44 団体 (3) 当事者（子ども）の声を聴くヒアリング事業「中学生・高校生・大学生＋吉本芸人の車座座談会」をわくわくカフェで開催し、カフェ利用者 6 人が参加した。 (4) プレイベント ゆでたかの氏をコーディネーターに座談会	9 月 29 日 10 月 26 日	4 人 5 人
3 休日マタニティセミナー （長野市保健所との協働事業）			
	1 日 時：毎月第 3 日曜日 10:00～12:30 2 会 場：もんぜんぷら座こども広場・もんぜんぷら座会議室 3 スタッフ：助産師 3 人、栄養士 1 人、 4 対 象：第 1 子出産予定で妊娠 20～30 週の妊婦とその夫（家族）のべ 193 組	2 回	193 組

	5 内容等 ・講話（妊娠中の食生活、赤ちゃんのいる生活・母乳の育児等） ・体験学習（沐浴・赤ちゃんのお世話）		
4 あそびましょう			
	もんぜんぷら座こども広場「じゃん・けん・ぽん」に出て来にくい東部保健センター地域に出向き、地域密着の保護者の育児支援を保健センター保健師等と共催で行った。 1 開催日 毎月第2、4木曜日を中心に月2回 2 開催場所 長野市東部保健センター 3 対 象 1歳から3歳までの未就園児とその保護者 4 内 容 手遊び・体操、ワンポイントアドバイス	0歳～2歳児 12回 2歳以上児 12回	170組 71組
5 ふたご・みつご広場			
	長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。 多胎児親子向けの遊びの広場を長野市民生児童委員協議会主任児童委員部会のボランティアと運営した。 日時 毎月第1月曜日 10時から11時30分 予約なし	12回	55組
6 ひとり親家庭交流会			
	長野市子育て福祉課と連携し、ひとり親家庭交流会を開催した。 日時： 10：30～12：30 9月23日 参加者数 大人7人、こども7人 11月10日 参加者数 大人6名、こども6名 内容： 大人 地下BOX3 「子育て世代のマナーセミナー」 講師 牧 博美氏（ファイナンシャルプランナー） こども わくわくカフェ 食育講座「作って食べよう！」 秋色のチーズ蒸しパン、ミネストローネ、牛乳寒天デザート 講師 岡村恵美子	2回	大人 13名 こども 13名
7 各種委員会への出席			
	理事長以下担当理事が出席 ・長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 ・SaSaLAND（ササランド）運営委員会 ・要保護児童対策協議会 ・ながのこども財団評議員会 ・自殺対策推進ネットワーク会議		

	・都市内分権審議会 ・社会教育委員会議		
地域との連携			
1 地域との連携			
	中心市街地を中心に権堂町等地域の行事に積極的に参加した。 7月 ・ ・ 権堂たなばた 2月 ・ ・ 灯明まつり ゆめ灯り絵展に出展		
他機関との連携			
1 長野労働局との連携			
	長野労働局が開催した「子育て女性に対する就業支援事業」における受講者の託児を実施した。	9回	託児 16名

チャイルドライン事業

チャイルドライン	
1 チャイルドラインながの運営 (1) 受付業務 週2日、月・水曜日の午後4時から午後9時まで開設 (2) 講座の開催 ① 「第22期受け手養成講座」(全10回) 9/28、10/5、10/26、11/16、12/7 受講者4名 ② 継続研修 ・「受け手支え手継続研修」(全10回) 養成講座と並行して開催 受講者延べ55名 ・「聞き方の練習～自分の癖を知ろう～」 4/20 ・「子どもの権利って何だろう」 6/29 (3) 交流会 4/20、1/11 (4) 定期総会 6/29 参加者12名 (5) 運営委員会 2/22 参加者14名委員会 (6) 事務局 専従者2名を置き、業務に従事 2 広報 県内の子どもたちや行政・地域の方々に理解、支援してもらうための周知活動 (1) 実績やデータの入ったパンフレットを作成・配布 (2) 養成講座の案内チラシをボランティアセンター、公民館、図書館等へ配布 (3) 信濃毎日新聞・地域紙へ養成講座募集案内掲載 (4) ポスター、カードを児童館、フリースクール、子ども食堂、小児科、図書館、中間教室へ配布 (5) ながの子ども子育てフェスティバル パネル展示 10/27 3 長野県チャイルドライン推進協議会の事業に参加・協力 (1) 会計監査 4/5	

- (2) 定期総会 4/17 場所：県庁議会棟
 (3) 運営委員会 (全3回) ZOOMにて開催 場所：上田
 (4) 合同研修会 6/22 場所：上田
 (5) カード、ポスターに関わる活動
 点字カード作成依頼(てんとう虫の会) 7/18
 長野盲学校5人、松本盲学校3人、松本美須々ヶ丘高校1人 配布
 墨字カード作成
 長野盲学校23人、松本盲学校16人 配布
 長野県庁へチャイルドラインカード仕分け、搬入

4 チャイルドライン支援センターの事業に参加・協力、 北関東信越エリア会議

- (1) 支援センター総会 6/8
 児童館、小児科等へポスター配布 7/30、8/8、8/19
 (2) ZOOM茶話会 8/6
 (3) 夏の全国キャンペーン参加 9/1
 (4) 全国24時間キャンペーン
 (5) 児童館・フリースクール・中間教室へチラシ・カード配布 10/21、11/25
 (6) 25周年記念全国研修・分科会 1/18、19
 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
 (7) 臨時総会「子どもの声が社会を変える事業」特定資産事業計画について
 オンライン開催
 (8) エリア会議(10団体) 4/7、10/6、10/22、2/14(全4回) @ZOOM
 (9) エリア会議 オンラインにて 「子どもの貧困について」 1/11
 「チャイルドラインとアドボカシー」 2/15
 「子どもの性の悩みに応えるために」 3/16

5 長野県、市の研修・会議

- (1) 長野市緊急時における子ども支援ネットワーク総会 5/1
 (2) 市民協働サポートセンター主催講演会「罪を繰り返さないため市民活動ができること」 7/7 会場：もんぜんぷら座
 (3) 信州型コミュニティスクール推進セミナー 7/9 オンライン開催
 (4) 長野市社会教育委員会 7/17、2/5
 (5) 長野県社会福祉協議会福祉活動委員会 主催 「こどもの意見表明等支援事業を学ぼう」 10/2 オンライン開催
 (6) ながの子ども・子育てフェスティバル交流会 10/11 会場：もんぜんぷら座

6 財政・渉外

- (1) カード協賛依頼 10件
 長野県小児科医会、(株)本久ホールディングス、栗田病院、今井こども医院、
 (株)シューマート、タイヤ&ホイールMANEKI-MOAIZOU、ながのり
 んどうライオンズクラブ、竹内こども医院、鈴木眼科医院、ホクト(株)
 (2) 寄付金 21件
 (3) 賛助会費 団体3件 個人24人
 (4) 募金箱の設置・・・21ヶ所

◎ 経費の配分

- ・「受け手」養成講座実施
- ・「受け手」「支え手」のための研修会を実施
- ・事務局員の配置
- ・事務所諸経費(管理費、専用電話、光熱費・備品等)

	・チャイルドライン事業を地域社会へ周知し、理解と支援を図るためのパンフレット作成費 ・県内の子どもたちへチャイルドラインの電話番号を知らせるためのカード作成費（チャイルドラインすわ、チャイルドラインうえだ、チャイルドライン佐久、チャイルドライン中信と連携、協力） ・チャイルドライン支援センター、長野県チャイルドライン推進協議会の事業への参加 ・運営に当たって必要が生じたもの 以上に掛かる必要経費 ◎活動人員数（2025 年 3.31 現在） ●支え手 登録数 6 名・実働数 6 名 ●受け手 登録数 32 名・実働数 21 名	
--	---	--